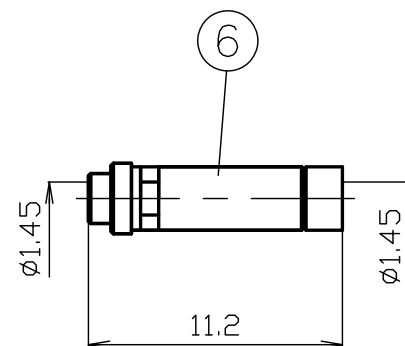
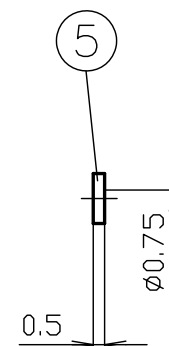
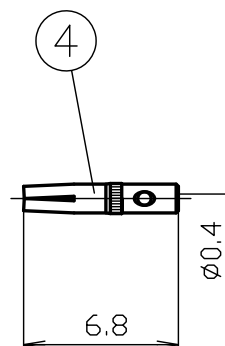
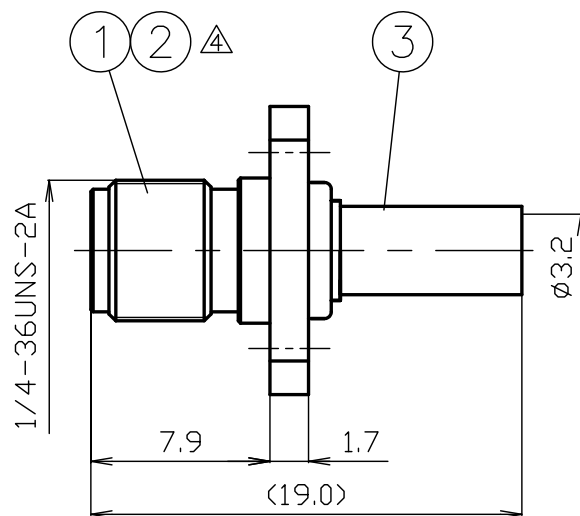


取付け穴参考寸法



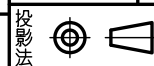
番号	変更・記事	日付	確認
①	社名変更	2012.01.05	済
②	外觀図面化	2016.06.09	山本
③	RoHS表記追記	2016.06.09	山本
④	回転止め機構追加	2022.06.28	山本
⑤			



RoHS Compliant		Gd ≤75ppm
REMARKS	BRASS: Cd ≤75ppm PHOSPHOR BRONZE: Pb <4wt%	

パッシブサイト処理

番号	部品名	材質	数量	処理	備考	単位	日付	製図	検図	承認	確認	品名
7						mm	2004.05.21	製図	検図	承認	確認	SMA-PJ-0.66A
6	インサートスリーブ	黄銅	1	Au				①	②	③	④	
5	テフロンスペーサー	テフロン	1	--				⑤	⑥	⑦	⑧	
4	中心コンタクト	ベリリウム銅	1	Au				⑨	⑩	⑪	⑫	
3	ホルダー	黄銅	1	Ni				⑬	⑭	⑮	⑯	
2	絶縁体	テフロン	1	--				⑰	⑱	⑲	⑳	J-1122255
1	シェル	ステンレス	1	*				㉑	㉒	㉓	㉔	
番号	部品名	材質	数量	処理	備考	単位	日付	製図	検図	承認	確認	図番



仕 様 書

品 名 SMA-PJ-0.66A

No. 1120795

図 番 J-1122255

株式会社トーコネ

定 格 1 参考規格 EIAJ RC-5234
2 公称インピーダンス 50Ω

確 認	検 印	作 成
山 12.01.05 本	檜 12.01.05 澤	山 12.01.05 口

	項 目	条 件	規 格
1	構造形状	構造及び形状寸法	異常のないこと
2		材 質	
3		仕上げ及び表示	
4	電 気 的 特 性	絶縁抵抗	DC 500V 5000MΩ 以上
5		耐電圧	AC 750V 1 分間 異常のないこと
6		接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1KHzの交流又は直流で1mVを越えない方法にて 3mΩ 以下
7		電圧定在波比	0.5～6GHzまで 1.2以下
8	機 械 的 特 性	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき 異常なく結合すること
9		雌コンタクトの保持力	規格ピンゲージ0.28N以上 異常のないこと
10		ケーブル接続強度	軸方向引張力 39N以上 異常のないこと
11		結合部接続強度	軸方向引張力 約180Nを加えたとき ねじ部の変形などの異常がないこと

GKQM-19-1

	変更履歴	日 付
1	社名変更	2012. 01. 05
2		
3		

SMA-PJ-0.66A 取付仕様書

適合ケーブル

C□-6F-DSB-CX50
1X32AWG(7/0.08)シース外径1.32

専用圧着工具

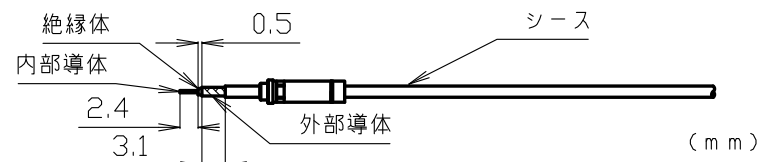
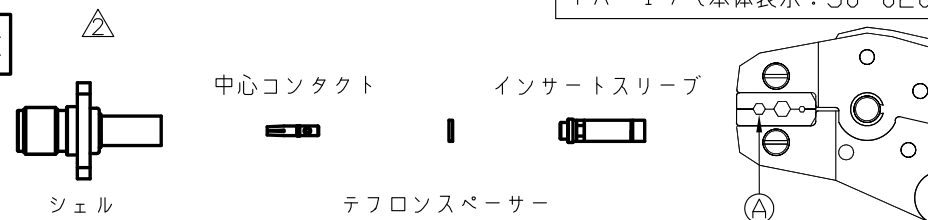
TA-16 (本体表示: DCC 0908)
TA-17 (本体表示: 50-0203)

図番 J-1122255



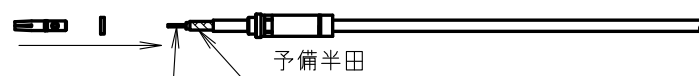
作成	確認
檜 '14.01.29 澤	山 '14.01.29 本

部品構成

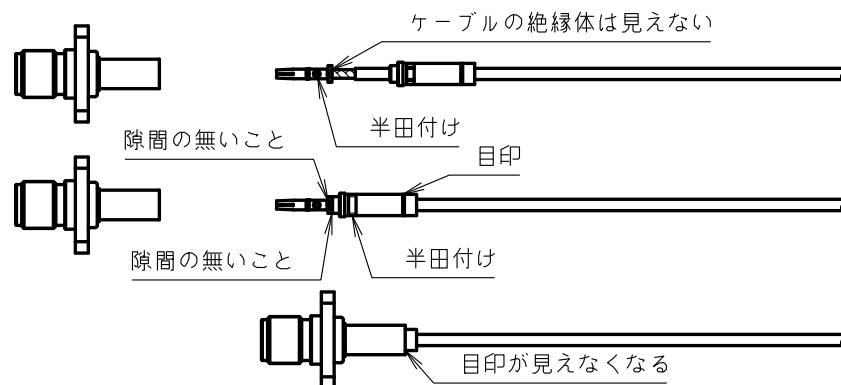


番号	変更・記事	日付
△	社名変更	2012.01.05
△	クリンプハイト・適合ケーブル 追記	2014.01.29

- 同軸ケーブルにインサートスリーブを通し、ケーブルを図中の寸法で切りとる。



- 芯線と編組に、しみる程度の予備半田をする。
注意: 予備半田後の外径が、余り大きくならない事。



- テフロンスペーサー 中心コンタクトの順に装着し、中心コンタクトに半田付けをする。
次に、インサートスリーブをスライドさせテフロンスペーサーに軽く押し当てながら、半田付けを行ない、最後にシェルを装着する。
この時、インサートスリーブの目印が見えなく隠れて見えなくなった事を確認する。

注意: テフロンスペーサーは、ケーブルの絶縁体が完全に隠れるように装着する事。
中心コンタクト、テフロンスペーサー、インサートスリーブ間に隙間が出来ない事。

- シェルが奥まで入った事を確認し、圧着工具のA部で圧着し作業を完了する。

注意: シェルが奥まで入った場合は、インサートスリーブの目印がシェルに隠れて見えなくなります。

中心コンタクトの段と絶縁体の面がほぼ同一面になります。

この時、図中の位置で寸法を測定し、クリンプハイトにより工具の強度調整用ダイヤルを設定して下さい。

測定位置でのクリンプハイト3.56~3.73mm

強度調節ダイヤル

